燦 セイワ

第35号
発行：令和２年１月
社会福祉法人 セイワ
〒213-0013
川崎市高津区末長1-3-13
☎ 044-861-6192
URL:http://www.fukushi-seiwa.jp

社会福祉施設 みやうち ご利用者の作品

介護老人福祉施設みやうち
◀佐保田慶子様の書道作品

障害者支援施設（通所）みやうち
▲共　同　作　品

希望の光に支えられて

理事長　石野　厚

皆様におかれましては、健やかに新春を迎えられたことと存じます。希望を胸に、と始まった令和の時代が、早くも２年目を迎えました。厳しい寒さは日に日に増していますが、冬の澄んだ空気に身が引き締まり、新しい年への志気が高まります。

昨年を振り返りますと、天皇陛下即位の礼やラグビーワールドカップでの日本勢の活躍など、歴史に残る出来事が多くあった年となりました。しかし、明るい話題だけではなく、多くの災害に見舞われた年でもありました。とりわけ、猛烈な勢力で日本に上陸した台風19号は、記録的な大雨によって多くの地域に甚大な被害をもたらし、川崎市においても多くの方々が浸水の被害に苦しみました。被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げるとともに、一日も早く生活再建できるよう、心よりお祈り申し上げます。

当法人におきましても、「社会福祉施設みやうち」が浸水の被害に遭いました。降り続く雨の影響で夕方には浸水が始まり、夜が更けるにつれ徐々に増した水位は、最大浸水高1.5メートルまで達しました。幸いにも職員の冷静で速やかな行動と日頃の防災訓練の成果により、早い段階でご利用者の方々に上階への避難をしていただいたため、人的被害はありませんでしたが、想定を超える水害により泥だらけの部屋には散らかった家具が広がり、茫然としてしまうような光景でした。しかし、知らせを受けたセイワ職員の多くが、物的支援を携え、即座にみやうちに集まってくれたのです。その後も近隣の方々や関係機関のご協力により、ボランティアは延べ1000名を超え、復旧への大きな希望の光となりました。セイワ職員の尊い行動を誇りに思うとともに、人と人の助け合う精神に胸を震わせ、セイワの基本理念とする「よりそい つなぐ こころ」に深く感動いたしました。改めて、この度の被災に関してご協力いただいた各関係機関の皆様、そして地域の皆様やボランティアの方々へ心より感謝申し上げます。そして、これからもご利用者の方々はもとより、地域の皆様からさらに信頼していただける施設となるべく、今一度防災の意識を高く持ち、職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

どんなに暗い夜でも、空にはまた日が昇り、明るい光で私たちを照らしてくれます。被災を受け、ライフラインも途絶え、一度は暗闇に取り残されてしまったみやうちも４ヶ月の時を経て新たに運営を始めます。皆様の温かいご支援のおかげで、社会福祉法人セイワは希望とともに、新たな一歩を踏み出せることができました。これからもご利用者の方々の明るい笑顔を守れるよう、そして支えてくださった方々のご厚意に報いるためにも、健全な施設運営に努めてまいりますので、引き続きご支援、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

台風19号による社会福祉施設みやうち被災に際しまして
たくさんのご支援・ご協力をいただき、
誠にありがとうございました！

令和元年10月12日の台風19号による、社会福祉施設みやうちの浸水被害に対しまして、多くのボランティアの方々、近隣、地域、各団体等の皆様による温かいご支援・ご協力に感謝し、御礼申し上げます。

多くの皆様のお力により、１階部分の泥のかき出しや被災した荷物の運び出し等、多くの人出を必要とする作業も２週間余りで終了し、復旧への大きな一歩となりました。重ねて御礼申し上げます。

現在は、事業復興に向け、職員一体となり積極的に取り組み、浸水による建物１階部分の改修工事・設備面での復旧工事・施設車両の手配など着々と進渉しております。復旧には時間を要しましたが、２月において事業再開をめざしています。

介護老人福祉施設　みやうち

施設長　陸川公男

このたびの台風19号による水害に際しましては、お心遣いをいただき深く感謝申し上げます。ご周知のとおり台風19号は、記録的な暴風雨をもたらし、当施設も１階が約1.5メートルの浸水被害を受け、ご利用者が一時孤立状態になりましたが、職員の迅速な対応により、怪我なく避難することができました。また幸いにも、居室エリアおよび厨房設備を上階に設置していたおかげで、ご利用者の生活に大きな影響もありませんでした。しかし１階部分の被害は大きく、当時は在宅サービスの再開や総合事務室の機能回復が見通せないなか、一日も早い復旧を後押ししようと、地域をはじめたくさんの皆様が駆けつけて下さいました。多くの人的・物的な支援は、より早い復旧活動の大きな力となるとともに大きな励みになりました。本当にありがとうございました。

おかげさまで建物の改修も順調に推移し、業務を再開できる状態まで復旧し、安堵しております。どうかご安心ください。

今回の経験を教訓に、あらゆる対策を講じ、ご利用者の皆様が水害の不安に脅かされることなく、安心して暮らせる、災害に強い施設づくりに取り組みますので引き続きお力添えを賜りますようよろしくお願い申し上げます。

障害者支援施設(通所)　みやうち

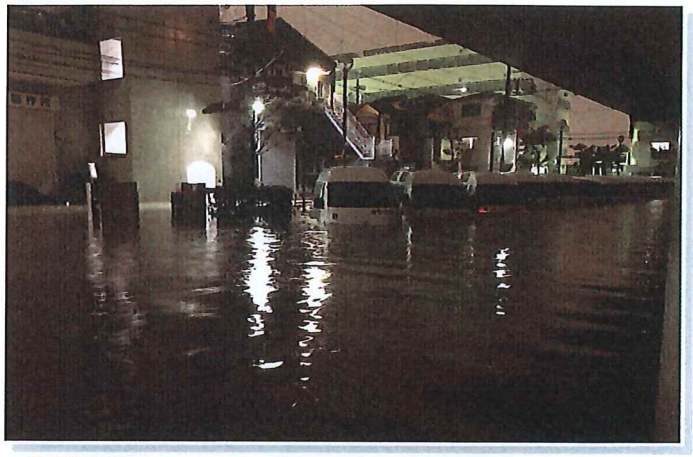
施設長　佐藤鎭男

台風による甚大な被害は受けましたが、ボランティアをはじめ多くの方々のご支援に励まされ、復旧に向けた取り組みを継続することができました。

改めて「普通の連続」がとても幸せなことであると実感し、今日の一日があることに感謝しております。ご利用者・家族・地域の方・応援して下さる皆様へ感謝を込め、また、この労苦を糧に「みやうち」が羽ばたける素敵な年になることを願っております。

台風19号によるみやうち被災状況

午後になると避難勧告が避難指示へと変わり、２階のご利用者に上階へ避難していただきました。16時頃には、玄関からの浸水が徐々に始まり、エレベーターが停止し、19時頃には全館が停電になりました。水は玄関に設置した土のうを超えて静かに入り続けました。



送迎車

玄　関

浴　室

玄関から浸水

膝上まで水が上がってきた頃には、何もできない虚しさを感じながら２階へ避難し、茫然と窓から外を見ているほかありませんでした。

朝方には水が引き、階段を降り、玄関ロビーへ出ようとしましたが、扉が動かず、力尽くで開けると、浮いてかき回された家具や備品が転がっていました。幸い、人的な被害はありませんでしたが、一夜にしてライフラインに係る設備機器をはじめ、送迎車や１階にあるすべての部屋が泥だらけになった光景には、言葉が出ませんでした。

洗濯室

ボランティア

被災した施設周辺と施設内の惨状を目の当たりにし、何から手をつければいいのかわからずにいましたが、被災翌日からセイワ職員をはじめ、関係事業者、近隣の方、部活帰りの高校生など多くの方々が連日応援に駆けつけてくれ、その時に感じた「心強さ」を今でもよく覚えています。２日目以降はＳＮＳを通して被災を知った方々より、ボランティアや物資の支援が多くあり、ＳＮＳが持つ『人と人とのつながり』の力に驚くとともに感謝の気持ちでいっぱいでした。

一日も早い復旧とボランティアの方々の想いに応えられるよう、施設では管理者を中心にその日の復旧状況と翌日の作業確認を毎日行いましたが、すべてにおいて全員が初めての経験のため、適切な対応ができないことも多々ありました。延べ1,000名を超えるボランティアの方々の協力と職員の頑張りで、泥のかき出しや汚れた備品の清掃・運び出しといった人手と体力が必要な作業も順調に進み、２月中には高齢・支援施設ともに、これまでどおりの事業が再開できる見込みとなりました。事業再開後も今回の支援で感じた「心強さ」と「感謝」の気持ちは忘れません。

ありがとうございました。

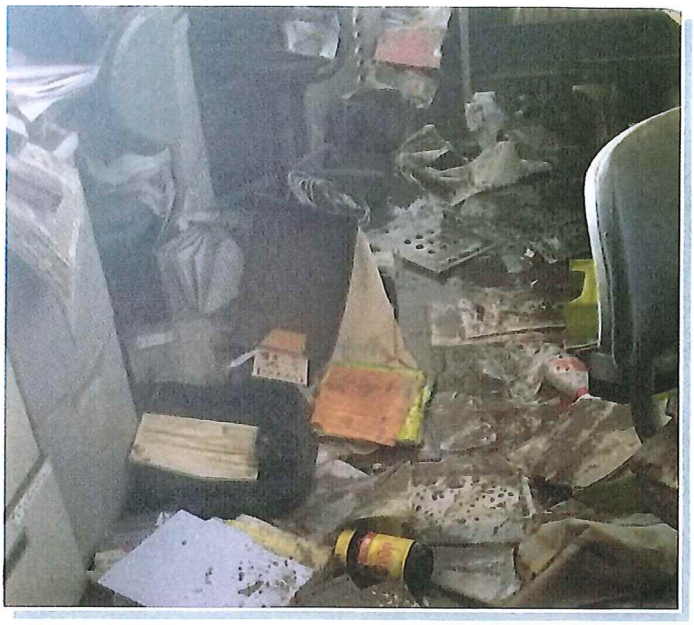
復旧作業

復旧に向けて

被災時の途方に暮れた状況から、多くの方々の温かいご支援と、施設の復旧を待ち望むご利用者を思い浮かべ、日々取り組んでいます。

また、事業再開後のさらなるサービス向上にむけて、ご利用者の静養スペースの拡大やトイレ・脱衣室の利便性の向上等も同時に検討しております。

一日も早く、今まで以上に安心で快適に、楽しく過ごしていただける「新生みやうち」をお見せできるように頑張っています！



総合事務所

かき出した泥

粗大ゴミの回収

フローリングの張替え

床の修繕

浴　室

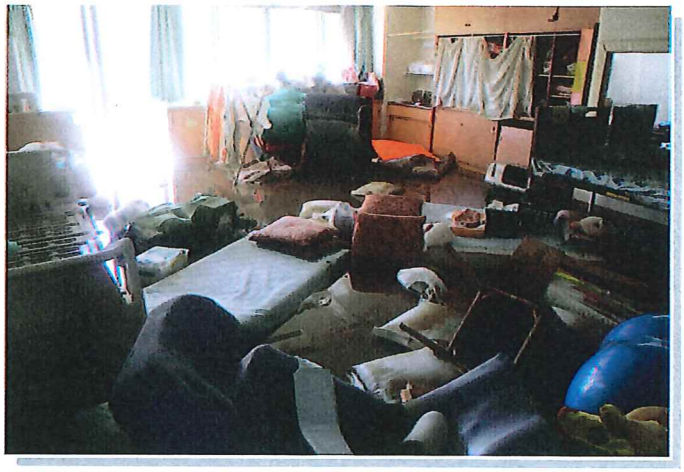
被災時の状況

介護老人福祉施設 みやうち
施設サービス事業長　城内　　蔵

台風の状況から浸水のリスクを考慮し、２階ご利用者43名を優先に、次にベッドを３階、４階に振り分け垂直避難しました。しかし、各階十分なスペースはなく、廊下やエレベーターホール等にベッドを並べたので、車椅子では通路も十分にとれない状況でした。外は暴風雨、テレビからは台風への警戒情報が常に流れ、ご利用者だけでなく、職員も不安を感じる状況でした。

ご利用者の避難後、１階に降りると、施設の周囲一帯はすでに膝のあたりまで浸水していました。自宅の浸水や家族の状況で帰宅しなければならない職員もいたため、限られた人数で優先すべきことを考えながら対応しました。

夜になると電気、水道、が止まり、非常用電源が切れてからは、施設全体が真っ暗になり、懐中電灯やランタンの明かりで過ごしました。また、コールや内線も使用できず、ご利用者の把握が難しい状況のため、巡回をこまめに行いました。浸水により断続的に非常放送が流れたり、非常灯が急に点滅しはじめたりする状況が翌朝まで続き、ご利用者、職員ともに休める状況ではありませんでした。そのような中でもご利用者からは、「大丈夫だから、頑張んな」「震災の時も大変だったけど何とでもなるから」など、労いの声をかけていただきました。その時は余裕がなく、応えるだけで精一杯でしたが、振り返ると本当にありがたく、励みになる言葉でした。また、翌日からはセイワ職員を含め、ボランティアの方々からのご支援をいただき、とても心強く、その後の復旧に向けて大きな支えとなりました。



作業室

復旧の様子

障害者支援施設(通所) みやうち
主　査　渡邊正博

被災翌日の朝方、水は引いたものの様々なものが泥まみれで、どこから手を付けてよいかわからない状況の中、順次集まってこられたボランティアの方々や職員が力強く片付けを進めていただけたので、落ち着きと安心感を持てました。屋外には泥が大量にあり、終日作業しても目途が立たない状況で、最終的には土のう2,500袋超えの量となるほどでした。道路には近隣の家から出された家具等も多く、片側通行の状況となっていました。施設内の被災ごみも山のようでしたが、川崎市により速やかに回収していただきました。また、日頃より取引していただいている業者の協力もあり、数日でライフラインを仮復旧していただけましたが、壁のいたるところにカビが発生し、何日たってもドアから水がしたたり落ちるなど、被害の大きさを感じました。書類も９割ほど水没してしまい、何とか破棄せずに済んだ物品もあるため、改修工事に伴い、都度その置き場所を移動しなければならない大変さを感じました。

事務室

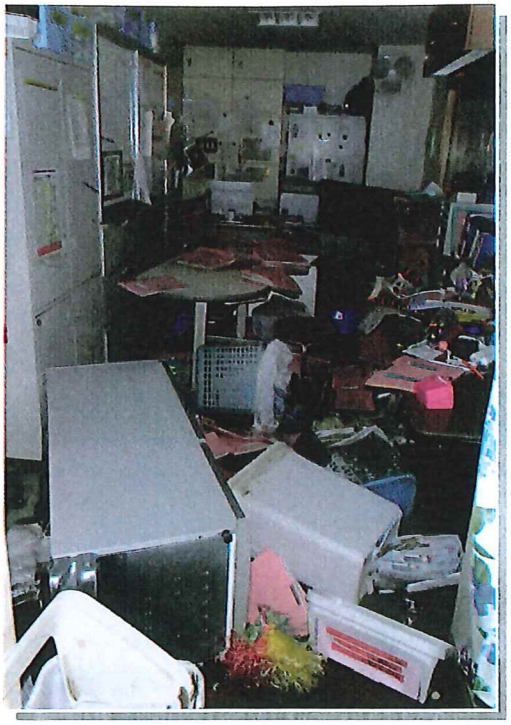
未だ完全復旧の途上ではありますが、ボランティアの方々の協力により目途が立てられるようになり、片付けの作業だけではなく、希望をいただけ、改めてありがたさを強く感じています。ありがとうございました。

ご協力いただいた皆様へ

晴天の朝、泥まみれの施設に一瞬足がすくみ、頭が真っ白になりました。ご利用者の日常を取り戻す作業と慣れない泥水の除去、廃棄物の処理、水で重たくなった書類処理は精神的にも体力的にも限界の日が続きました。そのような中、たくさんのボランティアの方々が駆けつけてくれました。ご利用者のご家族、地域、福祉関係の皆様への感謝の気持ちは言葉にあらわせません。特にセイワ職員の支援とあたたかい言葉に勇気づけられ力をもらいました。セイワの職員であることに、心からありがたく光栄と思いました。

一人ひとりにお礼を言いたいところですが、みやうちの職員は皆様への感謝を忘れることなく、復興再生をすることでお返しできたらと職員一丸となって取り組んでいきます。

今後とも、ご支援のほど、よろしくお願いいたします。



デイ職員室

ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

防災への取組み

社会福祉施設みやうちは、今回の水害被災の経験を踏まえ、さらなる防災機能および職員の高い防災意識の維持継続に努めるとともに、今後の減災対策として、木製建具からスチール建具への変更、サーバーおよび電話交換機等の上階への移設、また書類関係の水没を免れるための対応として、少人数の職員でも移動が可能となるように移動式の書庫を設置しました。

さらに今年度において、川崎市より大雨警報・避難勧告が発令された場合の職員参集方法および対応方法等について、より実践的で具体的な水害対策マニュアルの改訂と全職員への周知を目途とした訓練を行う予定です。これからも災害に対して迅速に対応するとともに、近隣地域への支援を行う体制づくりを確立していきます。

社会福祉施設みやうちは設立当初、減災への取り組みとして、厨房設備を最上階に設置する対応をとりました。今回の被災の際、その対策が幸いし、入居のご利用者の生活に大きな支障を出さずに済んだことは、日々防災対策に真摯に取り組んできた成果だと思っております。

今後もご利用者の皆様にとって、さらに安心・安全な施設となるため、社会福祉施設みやうち一体となって、さらなる防災対策の強化に取り組む所存でございます。

YouTube Facebook にて各施設の紹介映像配信中！

未配信の施設も順次投稿予定です

登戸ゆりのき保育園

いつも楽しそうな子どもたちの笑顔と笑い声があふれている保育園。子どもたちの笑顔で、まわりの人たちみ～んなを幸せにしてくれます。登戸ゆりのき保育園は、元気！笑顔！そして楽しい保育園です！

川崎授産学園

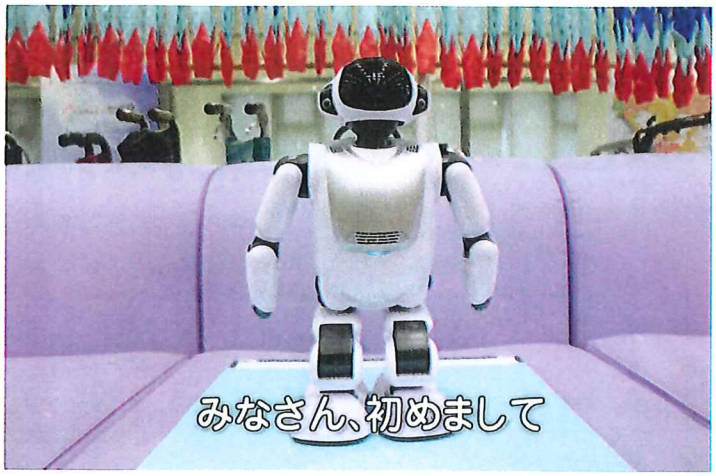
緑に囲まれた自然あふれる環境の中、天体観測もできる障害者の複合施設です。地域の皆様との交流も大切にし、開かれた障害者施設として、入所施設・通所施設・グループホーム・相談支援センター・市民交流事業を展開しています。

介護老人福祉施設幸風苑

幸風苑はあなたの生活スタイルに合わせ「ライフ・ワーク・バランス」を応援します。

幸風苑は地域に根差した施設運営を展開しております。働く職員への思いも同様で、近隣の方が働きやすい環境を提供しております。

介護老人福祉施設すみよし



すみよしでは、ご利用者一人ひとりに合わせた介護を基本に、人の手と介護ロボットを共存させた「介護のスマート化」を目指し、職員も共に学び進化しています。

障害者支援施設（通所）しんゆり

信(しん)頼を誇りに、
ゆ(ゆ)とりと安心を持って、
利(り)用者とともに歩みます。
障害者支援施設(通所)しんゆりは障害をお持ちの方々が、その有する能力・適性に応じ自立した日常生活・社会生活を営めるよう必要かつ専門的な福祉サービスの提供に努めるとともに、ご利用者・ご家族はもとより地域からの信頼を得られる施設を目指しています。

チャンネル登録＆フォローをお願いします！

YouTube用　Facebook用

事務局からのお知らせ

法務大臣表彰者のご紹介

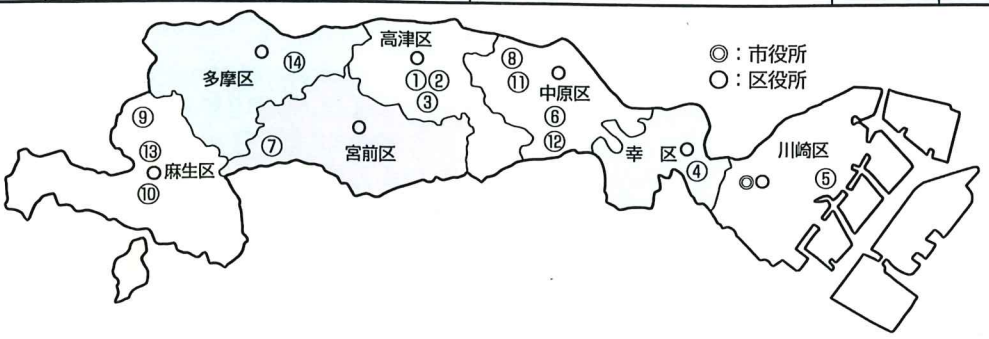
- 多年にわたり更生保護活動に尽力されたご功績を称えられ、法務大臣表彰を受賞されました。
  セイワ評議員　壁　　宣昭 様（麻生区社会福祉協議会副会長）

川崎市自治功労賞受賞者のご紹介

- 多年にわたり地域福祉の増進及び住民自治の振興発展に貢献されたご功績を称えられ、川崎市自治功労賞を受賞されました。
  セイワ評議員　柏木　靖男 様（橘地区連合自治会会長）

訃報

当法人の元理事長　森　博 様（享年88歳）におかれましては、令和2年1月4日にご逝去されました。
故 森　博 様は、理事長として（平成15年6月から平成17年5月まで）、当法人の発展にご尽力いただきました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈りいたします

セイワ施設一覧

施設名	所在地	事業内容	定員	事業開始日
①すえなが	〒213-0013 高津区末長１−３−13 TEL. 044-861-5317	養護老人ホーム 訪問介護事業所	50名	昭和40年６月１日 (平成８年５月20日) 平成19年４月１日
②すえなが	〒213-0013 高津区末長１−３−13 TEL. 044-861-5321	軽費老人ホームケアハウス	50名	平成８年５月１日
③すえなが	〒213-0013 高津区末長１−３−13 TEL. 044-861-5318	介護老人福祉施設 短期入所生活介護事業 通所介護事業 地域包括支援センター 居宅介護支援センター シルバーハウジング	104名 16名 30名 61名	昭和46年４月１日 (平成８年５月22日) 昭和54年９月１日 平成８年８月１日 平成18年４月１日 平成11年９月１日 平成15年４月１日
④幸風苑	〒212-0021 幸区都町６４−１ TEL. 044-511-3141	介護老人福祉施設 短期入所生活介護事業 通所介護事業 地域包括支援センター 居宅介護支援センター シルバーハウジング	60名 6名 25名 84名	昭和62年12月１日 昭和63年４月１日 昭和63年４月１日 平成18年４月１日 平成11年９月１日 平成10年10月１日
⑤桜寿園	〒210-0833 川崎区桜本２−３９−４ TEL. 044-287-2566	介護老人福祉施設 短期入所生活介護事業 通所介護事業 地域包括支援センター 居宅介護支援センター	74名 16名 30名	平成４年２月１日 平成４年４月１日 平成４年４月１日 平成18年４月１日 平成11年９月１日
⑥すみよし	〒211-0033 中原区木月祇園町２−１ TEL. 044-455-0880	介護老人福祉施設 短期入所生活介護事業 通所介護事業 地域包括支援センター 居宅介護支援センター	84名 16名 30名	平成６年４月１日 平成６年４月１日 平成６年４月１日 平成18年４月１日 平成11年９月１日
⑦鷲ヶ峯	〒216-0014 宮前区菅生ヶ丘１３−１ TEL. 044-978-2721	介護老人福祉施設 短期入所生活介護事業 通所介護事業 地域包括支援センター 居宅介護支援センター	72名 18名 30名	平成12年４月１日 平成12年４月１日 平成12年４月１日 平成18年４月１日 平成12年３月１日
⑧みやうち	〒211-0051 中原区宮内1−２５−１ TEL. 044-740-2810	介護老人福祉施設 短期入所生活介護事業 通所介護事業 地域包括支援センター 居宅介護支援センター	120名 10名 25名	平成15年４月１日 平成15年４月１日 平成15年４月１日 平成18年４月１日 平成15年４月１日
⑨川崎授産学園 つばき寮 つつじ工房	〒215-0001 麻生区細山１２０９ TEL. 044-954-5011	市民交流事業 障害者支援施設（入所） 短期入所事業 障害者支援施設（通所） 就労継続支援Ｂ型 短期入所事業 グループホーム事業 障害者相談支援センター事業	 50名 4名 50名 10名 4名 16名	 昭和56年10月１日 昭和57年１月１日 平成15年４月１日 平成24年４月１日 平成23年10月１日 平成９年７月１日 平成25年４月１日
⑩しんゆり	〒215-0021 麻生区上麻生3-22-12 TEL. 044-952-5451	障害者支援施設（通所）	50名	平成７年12月１日
⑪みやうち	〒211-0051 中原区宮内１−２５−１ TEL. 044-740-2817	障害者支援施設（通所）	60名	平成15年４月１日
⑫もえぎの丘	〒211-0035 中原区井田３−１４−１ TEL. 044-982-3731	障害者支援施設（通所）	45名	平成27年４月１日
⑬麻生ゆりのき保育園	〒215-0005 麻生区千代ケ丘1-17-2 TEL. 044-543-9041	認可保育所	60名	平成26年４月１日
⑭登戸ゆりのき保育園	〒214-0014 多摩区登戸２５９６−４F TEL. 044-322-8075	認可保育所	80名	平成29年４月１日